

公開実用 昭和 60— 171498

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-171498

⑬ Int.Cl.⁴

A 63 H 33/22
// A 63 H 9/00

識別記号

庁内整理番号

2107-2C
7339-2C

⑭ 公開 昭和60年(1985)11月13日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 玩具

⑯ 実 願 昭58-179297

⑰ 出 願 昭58(1983)11月19日

⑱ 考 案 者 松 宮 薫 大阪市東成区中道1丁目10番17号 株式会社サクラクレバス内

⑲ 出 願 人 株式会社 サクラクレバス 大阪市東成区中道1丁目10番17号



明 細 書

1. 考案の名称

玩具

2. 実用新案登録請求の範囲

ジチゾン水銀錯体またはジチゾンパラジウム錯体の微粒子が熱可塑性樹脂中に分散されていることを特徴とする合成樹脂製の玩具。

3. 考案の詳細な説明

この考案は合成樹脂で成形された玩具、特に太陽の直射日光にあてると変色するが、日陰へ移すと再びもとの色に戻る興味ある玩具に関する。

次に図に従いこの考案を詳細に説明する。

第1図において(D)は人形であつて、一般に軟質塩化ビニル樹脂、酢酸ビニル-エチレン共重合樹脂あるいはポリエチレンのような軟質で弾性のある熱可塑性樹脂で中空成形することによつて製造されている。

第2図は人形のごく1部の断面図であつて(S)は人形内の中空部、(1)は樹脂層、(2)は樹脂層中に微粒子状態で分散するジチゾン水銀錯体、(3)は酸化チ

公開実用 昭和 60— 171498



タン等の白色顔料であつて、オレンジ色のジチゾン水銀錯体に混合することにより肌色に発色させる。

ジチゾン水銀錯体は可逆的なフोटクロミック性があるので、この人形は通常は肌色であるが太陽の直射日光にあてると褐色に変色し、あたかも日光で焼けたようになる。そして又直射日光を避けると元の肌色に戻り興味深い玩具を得る。ジチゾンパラジウム錯体も可逆的なフोटクロミック性があり、通常は緑であるが直射日光により茶色に変色するので、前記と同様にカメレオン等の動物や木の葉等に応用すればカメレオンが環境の変化により変色する状態、木の葉が枯れ、春になつて新緑となる状態を再現し興味深い玩具を得る。

この玩具を製造する 1 例を記すと、軟質塩化ビニル樹脂、酢酸ビニルーエチレン共重合樹脂、ポリエチレン等の樹脂を 140～160℃に加熱し、ジチゾン金属錯体のクロロホルム溶液を加えて 1～3 分混練し、常法により中空成形すればよい。他の顔料を併用するときはあらかじめ樹脂に顔料



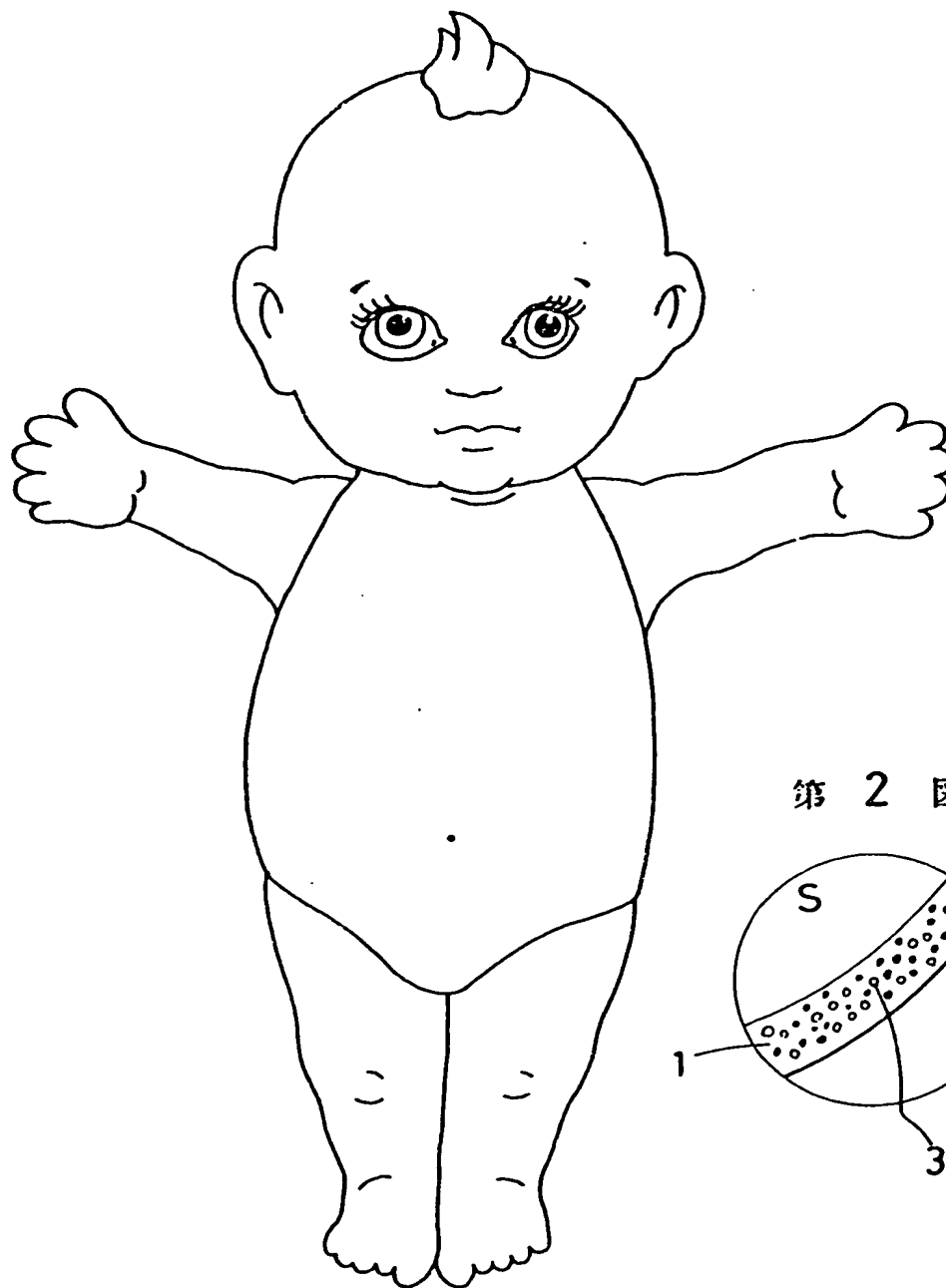
を混練しておく必要がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案玩具の正面図、第2図は第1図の1部の拡大断面図である。

図において(2)はジチゾン水銀錯体またはジチゾンパラジウム錯体の粒子である。

第 1 図



第 2 図

